

練習時の新型コロナウイルス感染予防策について

浦和交響吹奏楽団

【基本方針】

- 練習当日、各自で検温を実施
→37.5℃以上、もしくは平熱プラス1℃以上の発熱、風邪症状のある場合、体調不良を感じる時は練習に参加しない。
- 家族、学校、職場内等で感染者が出た場合は練習に参加しない。
- 団員個々の事情を考慮し、団は欠席を了承する。
- 団員は日頃から情報収集、感染予防に努める。

【感染予防策】

- 練習会場での入退室時は、入口に設置する消毒剤にて手指の消毒を徹底する。
- 合奏時、指揮者はマスク及びフェイスシールドを着用する。
- 管楽器奏者は演奏時以外、必ずマスクを着用する。
- 管楽器奏者以外は常にマスクを着用する。
- 打楽器奏者はスティック等を原則共用しない。
- 奏者間では前後2メートル、左右1メートル以上の適切な距離を取る。
- 合奏中、必要のない私語は慎む。休憩中も密の状態での会話を避ける。
- 管楽器奏者は各自給水シートを敷き、ベル等からの水滴が床に付着しないよう注意する。
- 水抜き時には細心の注意を払う。
→ウォーターキーにティッシュをあてがう等の工夫も必要。トーンホールからの水滴にも注意。
- ゴミは各自ビニール袋等に入れて持ち帰ること。
- 練習中は30分毎に数分間の換気を必ず行う。換気中は音を出さないこと。
- 練習後は使用した機器、会場施設の消毒を行う。
→各練習会場のガイドラインもチェックすること(利用人数の制限等)
- ミーティングは会場内では行わない。連絡事項等はメールリストを活用する。

(2020年8月策定)